

金ケ崎産直組合

金ケ崎産直組合によるカーボン・オフセットりんご販売プロジェクト

～被災地産クレジットで消費者の日常生活をカーボン・オフセット～

岩手県の金ケ崎産直組合が行う特産物販売において、販売する農産物にオフセット・クレジット(J-VER)を合計6トン付与し、購入者が1日の家庭生活で排出するCO2をカーボン・オフセットする。事務所での照明や空調の節電など削減努力を促進し、残ったCO2排出量についてJ-VERを活用してオフセットを実施した。



取組の概要

岩手県の金ケ崎産直組合が行う特産物販売において、販売する農産物にオフセット・クレジット(J-VER)を合計6トン付与し、購入者が1日の家庭生活で排出するCO2をカーボン・オフセットする取り組み。オフセットには被災地岩手県による森林吸収量取引プロジェクトのクレジットを用いる。被災地で創出されたクレジットを特産物に付与し、クレジットおよび農産物の「地産地消」を両立させた取り組みである。

オフセットの分類	自己活動型	認証取得(制度名)	カーボン・オフセット認証
取組の実施時期			
クレジット	クレジットの種類	J-VER	
	プロジェクトの種類	森林吸収系	
	プロジェクトの名称	岩手県県有林における森林吸収量取引プロジェクト	
	プロジェクト実施地	岩手県	
オフセット量	6tCO2		
無効化日	2012年12月18日		
販売数、参加者数等			
価格、参加費、クレジット費用の負担			
オフセット・プロバイダー	カーボンフリーコンサルティング株式会社		
オフセットの対象範囲 及び GHG排出量の算定方法		GHG排出量の削減努力	
対象:・商品購入者が日常生活で利用する機器など 算定方法: $排出量 = 年間1人あたりの家庭からのCO2排出量 \div 365日 \times 商品購入者数$ ※年間1人あたりの家庭からのCO2排出量は「温室効果ガスインベントリオフィス:日本の温室効果ガス排出量データ(1990～2010年度)」を参照		金ケ崎産直組合は、自店舗での特産物売り場において照明と空調の節電を行うことにより排出削減努力を行なっている また、農産物生産者においても生ゴミや堆肥を肥料として用い、化学肥料の利用を抑えることで、排出削減努力を行なっている。 事務所での照明と空調の節電を実施することで、排出削減努力を行なっている。	
取組んだことによるメリット・良かった点		取り組む際に工夫した点・苦労した点	
農林水産大臣賞を受賞 東京での販売		宣伝へと繋がるように工夫した。	

【問い合わせ先】
金ケ崎産直組合